【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成28年3月17日(2016.3.17)

【公開番号】特開2014-198197(P2014-198197A)
【公開日】平成26年10月23日(2014.10.23)
【年通号数】公開・登録公報2014-058
【出願番号】特願2013-75339(P2013-75339)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　8/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｒ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　8/00
Ｈ０４Ｒ　17/00　３３０Ｊ
Ｈ０４Ｒ　17/00　３３２Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成28年1月28日(2016.1.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
超音波トランスデューサー素子の超音波出射面に接続する素子接続面と、
前記素子接続面に対して凸形状である湾曲面と、
前記素子接続面と前記湾曲面との間を貫通するスリットと、
を有することを特徴とする音響整合体。
【請求項２】
請求項１に記載の音響整合体において、前記スリットの内側面は前記超音波出射面に直交する二つの平面を有することを特徴とする音響整合体。
【請求項３】
請求項２に記載の音響整合体において、前記素子接続面に垂直な方向からの平面視で前記超音波トランスデューサー素子が配置される領域の外側の位置において前記スリットに接続する供給口を備えることを特徴とする音響整合体。
【請求項４】
請求項１に記載の音響整合体において、前記湾曲面は相互に平行な母線で形成され、前記スリットの内側面は前記湾曲面の母線に平行な二つの平面を有することを特徴とする音響整合体。
【請求項５】
請求項４に記載の音響整合体において、前記素子接続面に垂直な方向からの平面視で前記超音波トランスデューサー素子が配置される領域の外側の位置において前記スリットに接続する供給口を備えることを特徴とする音響整合体。
【請求項６】
相互に平行な母線で形成される凸形状の湾曲面と、前記湾曲面と対向し前記母線と平行な基部面と、前記母線に交差する二つの平面とを有する音響整合片を複数備える音響整合体であって、
各音響整合片の前記湾曲面は共通の直線上に前記母線を有し、
各音響整合片の前記基部面は共通の平面上に離隔して配置されている

ことを特徴とする音響整合体。
【請求項７】
請求項６に記載の音響整合体において、前記二つの平面は前記母線に直交することを特徴とする音響整合体。
【請求項８】
請求項６または７に記載の音響整合体において、前記複数の音響整合片は前記母線に平行な方向において同じ距離で離れて配置されていることを特徴とする音響整合体。
【請求項９】
請求項８に記載の音響整合体において、前記複数の音響整合片は前記母線の方向に等ピッチで配置されていることを特徴とする音響整合体。
【請求項１０】
請求項６～９のいずれか１項に記載の音響整合体において、前記基部面に重なる表面を有して前記複数の音響整合片を共通に支持する基層を備えることを特徴とする音響整合体。
【請求項１１】
請求項１０に記載の音響整合体において、前記基層には、前記基層を貫通して前記複数の音響整合片の間の位置に開口する貫通孔が形成されていることを特徴とする音響整合体。
【請求項１２】
請求項６～１１のいずれか１項に記載の音響整合体において、前記湾曲面の前記母線と直交する方向での両端部のそれぞれの外側に位置し前記音響整合片を相互に連結する枠体を備えることを特徴とする音響整合体。
【請求項１３】
請求項１～１２のいずれか１項に記載の音響整合体を備えることを特徴とする超音波プローブ。
【請求項１４】
請求項１３に記載の超音波プローブにおいて、音響結合材の吐出手段を備えることを特徴とする超音波プローブ。
【請求項１５】
請求項１～１２のいずれか１項に記載の音響整合体を備えることを特徴とする超音波画像装置。
【請求項１６】
請求項１５に記載の超音波画像装置において、音響結合材の吐出手段を備えることを特徴とする超音波画像装置。